

計量分析手法 (2単位)

担当者氏名 新部昭夫

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

国際バイオビジネス学においては、経済活動や経営活動にともなう実証的な数量データを収集し、動向分析や経営戦略の評価、将来予測などに関する計量分析が多く用いられる。本講義においては、これらの計量分析に用いられる分布の理論や回帰分析、さらにカテゴリカルデータの分析手法の理論を解説し、その分析手法の実際を教示する。具体的な統計手法は分析ソフトとして Excel 統計や SPSS を用いて予定である。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

記述統計

統計的推論

回帰分析

重回帰分析

計量経済分析

カテゴリカルデータ

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1～3	統計学の基礎知識 1～3回	平均と分散、標準偏差と標準誤差	テーマに対応した教科書の章を熟読して授業に臨むこと。 基本的数学理論を理解するため、事前に予習を課す。
4～6	分布関数と検定 4～6回	t 検定、F 検定、カイ二乗検定	
7～10	回帰分析の知識と演習 7～10回	単純回帰モデルの基礎知識と演習	また、実際のデータを分析し、分析アプローチと結果の考察について理解を深めるため、講義終了後にレポートにまとめる ・演習ではプログラム作成を課す。
11～13	カテゴリカルデータの分析 11～13回	重回帰モデルの基礎知識と演習 順位相関係数、数量化、独立性の検定	
14～15	計量経済分析の基礎知識と演習 14～15回	ダミー変数、系列相関、多重共線性	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

数量的経済分析の基礎理論／木村和範／日本経済評論社(2003 年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業中に指定する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート(50%)、課題 (50%)

◆オフィスアワー

毎週金曜日 11 時～12 時、新部研究室。それ以外は他の教員と直接相談すること。

◆その他受講上の注意事項